

2026年度 医師・看護職員の負担軽減に向けた取り組みのお知らせ

当院では、医師や看護職員が診療やケアに専念できる環境を整え、患者様により安全で質の高い医療を提供するため、以下の通り役割分担(タスク・シフト/シェア)と業務効率化に取り組んでいます。

1. チーム医療による専門業務の分担(タスク・シフト)

各分野の専門スタッフが医師の業務を一部担うことで、迅速な対応と専門性の向上を図っています。

- **お薬のサポート(薬局)**: 薬剤師が患者様の状態に合わせた処方提案や、持参薬の確認・代行入力を行い、安全な薬物療法を支えます。
- **検査・処置のサポート(臨床検査科・臨床工学科)**: 検査技師によるエコー検査の実施や、臨床工学技士による透析シャントの数値管理を行い、異常の早期発見に努めます。
- **画像診断の補助(放射線科)**: 夜間や休日でも、技師が画像の一次確認を行い医師へ迅速に報告する体制を整えています。

2. 診療・説明業務の充実(多職種連携)

医師だけでなく、リハビリスタッフや管理栄養士などが直接患者様やご家族をサポートします。

- **リハビリ計画の説明(リハビリテーション科)**: 理学療法士・作業療法士などが、医師に代わり計画書の内容を詳しくご説明します。
- **栄養管理の提案(栄養科)**: 管理栄養士が患者様一人ひとりに適したお食事を医師へ提案し、栄養指導を行います。
- **お口のケア(歯科口腔外科)**: 手術前後の口腔ケアを専門チームが計画的に行い、合併症の予防に努めます。

3. 入退院支援と事務作業の効率化

スムーズな入退院と、書類作成などの事務負担軽減に取り組んでいます。

- **入退院の調整(地域連携室)**: 入院前から退院後を見据えた調整を行い、主治医や看護師が診療に集中できる環境を作ります。
- **書類作成のサポート(医事課・歯科等)**: 同意書や診断書などの作成を専門スタッフが補助し、IT化を進めることで、待ち時間の短縮に繋がります。

4. 看護職員の負担軽減と処遇改善

- **業務の標準化**: プロトコール(治療手順書)に基づいた運用を行うことで、看護師の判断をサポートし、過度な業務負担を抑えます。
- **情報の共有**: 医師・看護師・コメディカルによる短時間のカンファレンスを実施し、効率的な情報共有と連携を強化しています。

当院は、全職員が協力して「チーム医療」を実践し、患者様が安心して治療に専念できる体制づくりに邁進してまいります。ご理解とご協力のほど、お願い申し上げます。